

宇宙基本計画工程表の改訂に向けた中間取りまとめ案

(宇宙安全保障部会)

平成30年5月30日
宇宙開発戦略推進事務局

工程表21 宇宙状況把握 (SSA)

- ・ SSA情報の収集能力向上や情報共有を進めるため、SSAシステムの運用要領等の具体化、JAXAとの連携、米国や仏国との二国間協力の具体的な取組を進めていく。また将来のSSA情報収集能力向上を検討するため、SSA衛星等の技術動向等を調査する。
- ・ 平成35年度以降のシステム運用開始を見据え、平成30年度から関係3府省（内閣府、文科省、防衛省）の間で、システムの設計・整備状況、SSA情報の果たす役割を踏まえつつ、システムの維持・運用・経費等の具体化に向けた検討を進める。
- ・ 内閣府は国土交通省等関係省庁と連携し、宇宙交通管制 (STM) 等の国際的な動向等について調査し、SSA情報の利活用について検討する。

工程表22 海洋状況把握 (MDA)

- ・ 「海洋状況表示システム」を活用した海洋情報の効果的な集約・共有・提供を行う。あわせてALOS-2等に加え、ALOS-3・4、SLATS等の各種衛星及び民間等の小型衛星（光学衛星・SAR衛星）等の活用も視野に入れ、海洋情報の収集・取得に関する取組の強化及び海洋観測等に関する基盤整備の強化を進める。
- ・ 準天頂衛星の機数増等の取組、ALOS-3・4等の技術開発及びSLATSの実証実験等の進展、船舶自動識別装置 (AIS) 受信機を搭載した衛星の普及や小型衛星等各種衛星に関する諸外国の取組等を踏まえ、衛星AISによる船舶航行状況をより正確に把握するための実証実験の実施等、海洋状況把握における衛星情報の更なる利活用について研究や検討を行う。また、米国や仏国等との一層の連携強化を図る。

工程表23 早期警戒機能等

- ・ 内閣府は関係各省と連携し、早期警戒機能等に関する海外のセンサーや地上処理装置などの技術動向を調査研究する。また米国が次世代の早期警戒衛星プログラム (周回) の開発を進めていることを踏まえ、米国との早期警戒分野での協力を進める。

工程表 2 4 宇宙システム全体の機能保証強化

- ・宇宙システムの脆弱性評価、関連する調査、宇宙システムの機能低下が及ぼす影響度も考慮した宇宙システムの機能保証強化に資するリスクアセスメント手法の検討及び情報共有を行う。また、更なる対策強化に向け、机上演習に必要な調査や検討等を行う。
- ・衛星通信における量子暗号技術、スペースデブリの除去技術、小型コンステレーションの活用等、宇宙システムの機能保証に資する技術開発や衛星運用の動向を踏まえ、機能保証上の重要性に応じ関係省庁間の連携に資する取組を推進する。

工程表 3 7 JAXAと防衛省との連携強化

- ・宇宙システムの機能保証強化に資するSSAシステムの連携や人事交流を始めとした具体的な取組や更なる連携強化の取組について検討する。
- ・継続的かつ安定的に相互の意見交換や情報共有等を行うための仕組み作り等の取組の充実に努める。

工程表 5 1 宇宙安全保障の確保に向けたその他の取組

- ・宇宙産業の活性化と民間衛星の積極的な活用について検討する。
- ・将来の安全保障に資する宇宙システムについて、技術開発や利用の動向（例：SSA衛星、早期警戒衛星、電波監視衛星、静止軌道光学衛星、量子暗号通信技術、衛星データへのAI技術の活用等）を調査・検討し、必要な取組を行う。